

## ■中国：中電聯 2010 年電力需給予測

中国電力企業聯合会は 2010 年 1 月 26 日、「全国電力需給と経済情勢分析予測報告」(2009-2010)において、2009 年の総括と 2010 年の予測を発表した。2009 年は経済活動にとって困難な一年であったが、政府の大型刺激策により、電力の生産および消費が回復する一方、一部地域で供給余剰が生じているものの、電力需給は基本的にバランスが取れたとしている。2010 年の電源・流通設備への投資規模は 6,600 億元になると見込んでいる。新規の発電設備容量は 8,500 万 kW で、2010 年末には 9 億 kW を突破、そのうち風力発電設備容量は 3,000 万 kW になるとしている。消費電力量は、2009 年比 9%増の 3 兆 9,700 億 kWh で、需給は基本的にバランスすると見ている。電気料金については、発電燃料である石炭価格の動向によって石炭価格連動制度を適切に発動することが望まれるとしている。また、電気料金の制度改革を加速し、クリーンエネルギーの利用促進とエネルギー構造調整を推し進める制度の研究を行う必要性についても言及している。